

第73回高等学校卒業式 式辞

校長 大岩 厚

活水高等学校を卒業される皆さん、ご卒業、誠におめでとうございます。保護者および関係の皆さま、お子様をここまで育ててこられまして、この日を迎えられること、心からお喜び申し上げます。

振り返れば、1年前の2月27日夕方、修学旅行の帰りのバスの中での出来事です。楽しかった思い出に浸っている中、安倍首相（当時）が、全国一斉休校を要請した、とのニュースがにわかに飛び込んできました。それ以来、新型コロナウイルスに影響を受け続けた日々でした。

感染防止のために、やむを得ず中止になった大会や行事がありました。十分な対策を取りつつ出来る方法はないかと、試行錯誤して延期あるいは規模縮小しながら行った行事や部活動など、目標を切り替えて、知恵をしぼり工夫して、いろいろな事に臨んだ日々であったと思います。

当時、ドイツのメルケル首相が、「今は距離を置くことが唯一思いやりなのだ、ということを実際に全員が理解しなければなりません。」と国民に語りかけました。寄り添うことを大切にしてきた私達には、距離を置きながら、「ともに、輝く。」ことを模索しなければならない、そんな一年でもありました。

皆さんは、高校生活を通して、たくさんのお話を学び、大きく成長されました。本当に嬉しく思います。そんな皆さんが、今後歩む新たな世界は、自然環境やテクノロジー、物事に対する価値観などが急速に変化している社会です。また、新型コロナウイルスの影響もしばらくは続くと思われまします。その様な日々の中でも、活水高等学校で培った学びを活かし、失敗を恐れず歩んでいただきたいと願います。

聖書Ⅱコリント4章18節には、「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。」と書かれています。よく言われますね、「大切なものは目には見えない」と。見えないものとは、「道」、「真理」、「命」であり、また、「愛」であり、「信頼」であり、「希望」でもあります。そして、自分が何かに取り組んだ、という紛れもない事実です。

見えないものを見る目を持つためには、いつも学び姿勢を持ち、神様の前に謙虚であること、素直であることが大切です。自らを見つめ直して意識すれば、人は変わることができます。

いくら技術が進化しても、世の中が変わったかのように思えても、最後は、見えないものに目を注ぐことで得られるものが大切なのだと思います。

「わたし、輝く。ともに、輝く。」ことを目指し続けていただきたいと願っています。

卒業する皆さん一人一人が、幸せな人生を歩むことができるよう、そして、皆さんの歩みの上に神様の豊かな恵みがあるようお祈りして、校長の式辞といたします。

巣立ちの決意も新たに 同窓会入会式

卒業式を翌週に控えた2月12日(金)に、朝の礼拝に引き続き、同窓会入会式がチャペルで行われました。最初に、森恵子同窓会会長から、「コロナ禍の中で学びの時を終え、巣立つ卒業生のこれからの歩みの上に、神様の恵みと励ましがありますように」との言葉とともに入会へのお祝いと歓迎の挨拶がありました。続いて、各クラス2名の同窓会連絡委員の紹介と、卒業生全員に入会の記念品贈呈がありました。卒業生代表として記念品の銀色のスプーンを受け取ったⅢB長岡菜凜さんは、「このスプーンをこれから始まる新たな生活における心の支えとします」との力強い決意の挨拶を行いました。



(文責：武富和敏)

卒業式、様々な配慮のもとで

2月16日(火)午前10時より、今年度の高校卒業式がチャペルで行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、卒業生と教職員のみの参加とし、間隔をとっての着席、マスク着用、讃美歌や校歌は一節分の伴奏のみ、時間短縮のため式辞と祝辞は書面配布とするなど、対策を講じての実施となりました。

そのような中、卒業生全員がオペラ「アイダ」のピアノ伴奏に合わせて整然と入場、聖書朗読に続いて、祈りがささげられ、大岩校長から一人ずつ卒業証書が手渡されました。

この後、卒業生代表の感謝の辞、魂譲り(たまゆすり)が行われました。今年は、伝統の手桶(たおけ)に、純潔を表す「白」、幸福と希望を表す「菜の花色」のりボンが結ばれました。野原いっばいに咲く菜の花のように周りを明るく照らし、感謝の心と思いやりの心を大切にできる女性になってほしい、との願いが込められました。

多くの方々のお支えのもとで、3年間または6年間の確かな成長をもって、それぞれの道へと羽ばたく一人ひとりに、神様の祝福が豊かにありますように。関係の皆様、心からのお祝いと感謝を申し上げます。おめでとうございます。ありがとうございました。(文責：石村直義)



卒業生代表の近藤玲菜さんから在校生代表の富田麻琴さんに手桶が渡されました

感謝の辞(要約)

今日、この佳き日に、私たちは卒業します。チャペルにみんなで集まることができ、力を尽くして下さった皆さまに、卒業生一同、心から感謝いたします。

最上学年への心構えをする間も無く急に2年生の課程が終わり、自宅学習期間の後、それまでとは全く違う学校生活が始まりました。この一年、私たちは「普通」や「日常」と思っていたことの大切さを感じてきました。

でも、今になって思い返されるのは、マスクをしていてもちゃんとわかった、みんなの笑顔です。多くの制限の中、いったい何をすることができるのか、私たちは懸命に考え、できることを精一杯楽しんできました。

高校生活を楽しく華やかにしてくれた友人たち。3年間を豊かなものにしてくれてありがとう。

毎日、私たちの安全を第一に考えてくださった先生方。先生方のおかげで、私たちは一つ一つ壁を乗り越え、今この場に立つことができます。本当にありがとうございました。

一番の感謝を伝えたいのは家族です。どんなに嫌なことがあっても、どれだけ疲れていても、温かで安心できる場所で「おかえり」と迎えてくれました。注がれた愛を糧に成長を続ける私達を、これからも見守ってください。

『あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい』

私は、6年前にこの御言葉を聞いて、「なんて素敵な言葉なんだろう」と深く感動しました。卒業生一人一人の胸に、活水での思い出が光り輝いています。これまでに例のない大変な時期を、手を取り合い笑顔で乗り切ってきた私たちは、特別な絆を築くことができました。私たちなら、この先、どんな壁にぶつかってもきっと乗り越えることができると信じています。在校生の皆さん、私たちは、これまでの先輩方のようにではできなかったけれど、制約の多い中で精一杯頑張る姿を見せることはできたと思います。きっと何かを感じてくれたと信じています。これからの高校生活を楽しんで、輝いて過ごしてください。

活水の学びの中で得た全てを、これから広い社会に出て、多くの隣人に分け与えることができるよう精一杯努めていきたいと思っています。

2021年2月16日 第73回卒業生代表 石田とねり



高校ダンス発表会

2月3日(水)に高校Ⅱ年生のダンス発表会を開催しました。発表作品は、基本6番と創作ダンスの2つです。基本6番は、何十年も続いている伝統ある作品で、メイポールダンスに繋げていくため、3拍子でのステップや柔軟体操などが組み込まれているバレエ風の踊りになっています。各クラスのダンス委員が作品に合わせて隊形移動を考案しました。創作ダンスは、ダンス委員を中心にクラスにあった曲の選択、ダンス、隊形移動を構成しました。優勝したBクラスは、クラスの雰囲気合った楽しい作品に、2位のAクラスは、上半身を上手く使ったカッコいい作品に、3位のCクラスは、アイデアが素晴らしく可愛い作品に、4位のDクラスは、テンポの速い曲に合わせたカッコいい作品を発表してくれました。今年は、コロナウイルスの影響で開催できるか心配でしたが、感染対策の中で無事開催し、生徒たちの輝く姿を見ることができ、嬉しく思いました。(文責：向井杏奈)



優勝したⅡ年B組のダンス



今月の聖句

「今日は野にあって、明日は炉に投げ込まれる草でさえ、神はこのように装ってくださる。ましてあなたがたにはなおさらのことである。」(ルカによる福音書 12:28)

三寒四温、道端に菜の花を見かけるようになりました。春到来を告げる心和む花です。野の花は、誰かが種を蒔いたわけでも手入れをしたわけでもないのに、育てて花を咲かせます。美しい花を咲かせることのおできになる神さまが、ましてや人間を、美しく輝かせてくださらないはずがありません。

人間の美しさとは、装飾などによるとってつけた美しさではなく、内面から輝く、魂の美しさ、心の輝き、精神の純粹さ、瞳がきらきらと輝くような、愛や希望に満ちた美しさだと思います。

「わたし、輝く。ともに、輝く。」ことを目指して過ごしてきた2020年度、思いがけない困難の中にありつつ、それぞれが成長を遂げて美しい花を咲かせることができたことでしょうか。新しい年度に向けて、中学校三年生は卒業や高校入学に向けて、自己の成長を喜び感謝しながら、思いを巡らせてみましょう。(石村直義)



20 (土)	19 (金)	18 (木)	17 (水)	13 (土)	12 (金)	11 (木)	6 (土)	4 (木)	1 (月)	3月行事予定
春分の日	卒業式	球技大会	3学期授業終了	音楽コースⅠ・Ⅱ年生演奏会	中学卒業式	中学卒業礼拝(高校午後力ツト)	英語科発表会	中学ダンス発表会(6校時)	高校Ⅰ・Ⅱ年学年末考査最終日	



平和学習部、冊子を完成

高校平和学習部の「ふりそでプロジェクト」メンバーが、自主編集の冊子『ふりそでの少女 — 二つの物語』を完成させました。これは被爆少女の悲劇とそれを伝えるために銅像を建てた中学生たちの物語をまとめたもので、広く海外にも発信するために、英語・中国語簡体字版・中国語繁体字版・韓国語の翻訳をつけています。5000部制作された冊子は、全校生徒に配られたほか、今後原爆資料館をはじめとする公的機関や希望者に配布されます。

同プロジェクトは、公益財団法人長崎平和推進協会によって始められた「私たちが考える“アジア青年平和交流事業”」への取り組みとして2011年度から続けられています。これまで、ワークショップ・ディスカッション・フィールドワークなど、交流型の事業を展開しており、今回も当初は「振袖の折り紙」を折るワークショップを中心に企画されました。しかし、コロナ禍の状況下で、事業の中心をコトからモノにシフトしたということです。

この事業は、その継続性・一貫性が高く評価され、関係者の励みもあって、2月9日(火)に長崎市役所での記者会見を行いました。3月15日(金)には、長崎市長を表敬訪問し、直接渡すことになっています。(文責：草野十四朗)



記者会見で冊子と関連資料を披露する部員

卒業生らの表彰続々と

長崎県スポーツ表彰(長崎県高等学校体育連盟)

高山真輝(チームライフル)
*全国高校スポーツ射撃大会チームライフル部門での全国優勝が対象となりました。
長崎県全体で34人が表彰されています。

長崎県スポーツ賞(長崎県教育委員会)

高山真輝(チームライフル)
長崎県高等学校体育連盟 卒業生顕彰
白岳英子(ソフトテニス)

*各校から1名学校推薦を受けて選ばれました。

長崎県高等学校文化連盟 卒業生顕彰

近藤玲菜(吹奏楽)
*各校から1名学校推薦を受けて選ばれました。

長崎県高等学校文化連盟表彰

活水高校図書委員会
(図書館広報紙コンクール5年連続最優秀賞)
*長崎県内の文化部・文化関係委員会のうち、8団体のみが表彰対象となりました。

長崎県教育委員会表彰

松本英姫(ピアノ・Ⅱ年生)
石川奈那美(ピアノ・Ⅰ年生)

アンサンブル全国大会出場

<吹奏楽部>

アンサンブル

九州アンサンブルコンテスト

金賞(出場30校中12校。全国大会出場は2校のみ。)
*宮崎市で3月20日に行われる全国大会に九州地区代表として出場。

活水学院吹奏楽団

マーチングバンド全国大会 一般の部 大編成
2020JMBAアワード・グッドミュージック賞
ながさきオンライン文化祭
音楽 自由曲 器楽団体部門 最優秀賞

<音楽コース>

九州ピアノコンクール決勝大会

最優秀賞・西日本新聞社賞 三浦蓮月

<その他>

創作漢字コンテスト(産経新聞社、立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所主催)
Z会 優秀賞 松尾瞳月